

令和7年2月食品ロス実態調査報告書  
秋田市食品ロス実態調査報告書

令和7年3月26日発行

## 1 実施概要

■実施日時	令和7年2月20日（木）、21日（金）
■作業場所	秋田市総合環境センター
■作業時間	8：30～17：00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業体制	秋田市職員のべ13名（地域別家庭ごみ組成調査） 受託業者職員のべ6名（食品ロス調査）
■調査資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 標記調査と同日に行う「地域別家庭ごみ組成調査」の調査資料である家庭ごみ100袋のうち、生ごみに分別された試料を「食品ロス実態調査」の調査試料とした。</li><li>・ 調査資料である100袋の地区別の収集数は、中央、東部、西部、南部、北部、河辺・雄和の6地区の人口構成比により以下のとおりとした。 【2月20日】 中央（檜山11袋）、東部（東通10袋）、西部（新屋元町又は日吉町5袋）、南部（御所野8袋）、北部（下新城中野6袋、金足6袋）、河辺・雄和（河辺4袋） 【2月21日】 中央（川尻6袋、大町6袋）、東部（添川4袋、旭川4袋）、西部（新屋勝平町6袋）、南部（上北手8袋）、北部（飯島12袋）、河辺・雄和（雄和4袋）</li><li>・ 調査資料の重量は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」で示している「100世帯分程度のごみ袋又は生ごみで100kg～150kg程度」としていることを踏まえ、上記100袋に含まれていた生ごみ約102kgとした。</li></ul>

## 2 調査方法

調査方法は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」に従って以下のとおり実施した。

### (1) 試料採取

各地区の収集を担当する委託業者の運転員が、それぞれ当該地区のごみ集積所から、予備の袋も含め無作為に採取し、破袋しないよう作業所まで運搬、到着後、必要袋数を市職員が無作為に抽出した。

### (2) 作業内容

- ・ 調査対象となる100袋に含まれる各地区ごとの食品廃棄物（生ごみ）の重量を計量した。
- ・ 食品廃棄物のうち、手付かず食品（100%残存・50%以上残存・50%未満）と食べ残し、調理くず、その他に分類し、重さを計量した。
- ・ 手付かず食品の賞味期限および消費期限を確認した。

3 調査結果

(1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表1）、6地区の100袋の合計重量は、321.3kg、1袋あたりの平均重量は約3.2kgであった。

図表1 調査対象とした試料概要（秋田市）

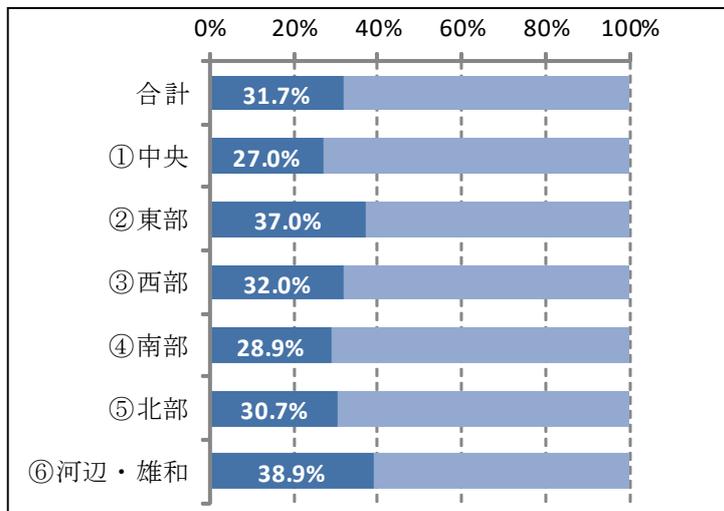
	袋数（個）	重量（kg）	容量（L）	袋あたり	
				重量（kg）	容量（L）
合計	100	321.3	3640	3.2	36.4
①中央	23	72.6	835	3.2	36.3
②東部	18	65.3	720	3.6	40.0
③西部	11	27.1	355	2.5	32.3
④南部	16	55.0	620	3.4	38.8
⑤北部	24	71.6	820	3.0	34.2
⑥河辺・雄和	8	29.7	290	3.7	36.3

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表2）、6地区の合計割合では、31.7%となっている。

地域別に見ると、⑥河辺・雄和が最も高く38.9%、次いで②東部の37.0%、③西部の32.0%、⑤北部の30.7%、④南部の28.9%、①中央の27.0%、となっている。

図表2 試料中の食品廃棄物の割合（秋田市）



	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	321.26	101.89	31.7%	68.3%
①中央	72.56	19.61	27.0%	73.0%
②東部	65.25	24.16	37.0%	63.0%
③西部	27.10	8.67	32.0%	68.0%
④南部	55.02	15.90	28.9%	71.1%
⑤北部	71.63	22.00	30.7%	69.3%
⑥河辺・雄和	29.70	11.55	38.9%	61.1%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

(2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄および食べ残しを食品ロスとする。

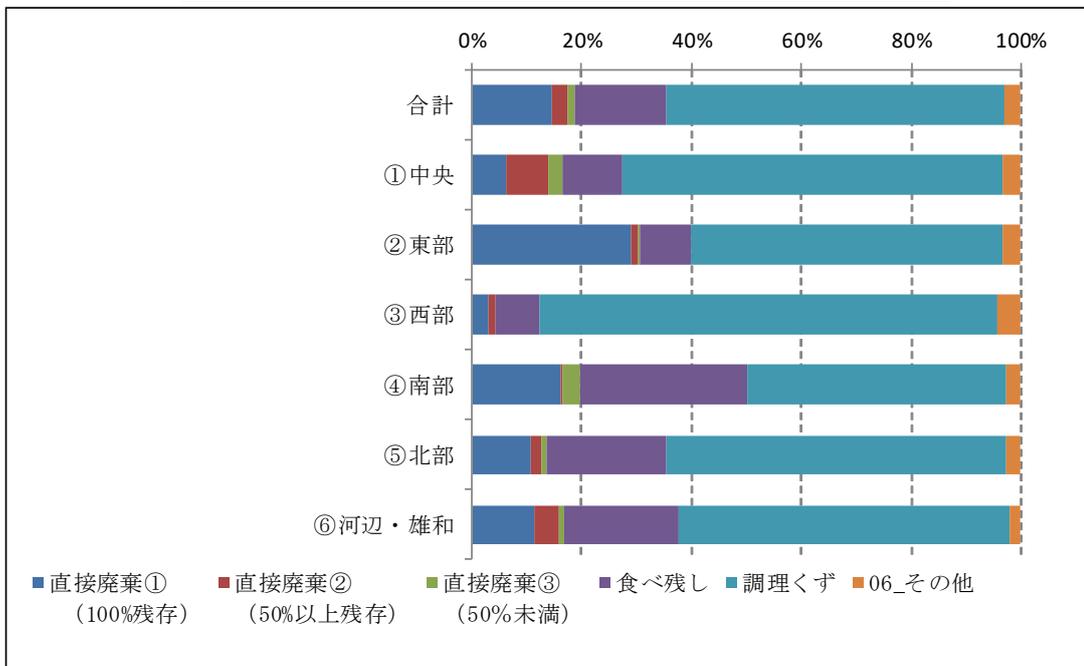
食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表3）、6地区の合計割合では35.5%となっている。

地区別に見ると④南部が最も高く50.3%、次いで②東部の39.8%、⑥河辺・雄和の37.7%、⑤北部の35.4%、①中央の27.5%、③西部の12.2%となっている。

直接廃棄に着目すると、6地区の合計割合では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち14.4%を占めており、②東部で28.9%と高く、次いで④南部が16.1%、⑥河辺・雄和が11.3%、⑤北部が10.7%、①中央が6.3%、③西部が2.9%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、6地区の合計割合では16.9%となっている。南部が30.7%と高く、次いで⑤北部が21.9%であり、③西部が最も低く7.7%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（秋田市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	35.5%	14.4%	2.9%	1.4%	16.9%
①中央	27.5%	6.3%	7.6%	2.7%	10.9%
②東部	39.8%	28.9%	1.2%	0.3%	9.4%
③西部	12.2%	2.9%	1.5%	0.0%	7.7%
④南部	50.3%	16.1%	0.5%	3.0%	30.7%
⑤北部	35.4%	10.7%	2.1%	0.8%	21.9%
⑥河辺・雄和	37.7%	11.3%	4.4%	1.2%	20.7%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、食品ロス割合の内訳（直接廃棄・食べ残し）の合計は、食ロス割合と合致しない場合がある。

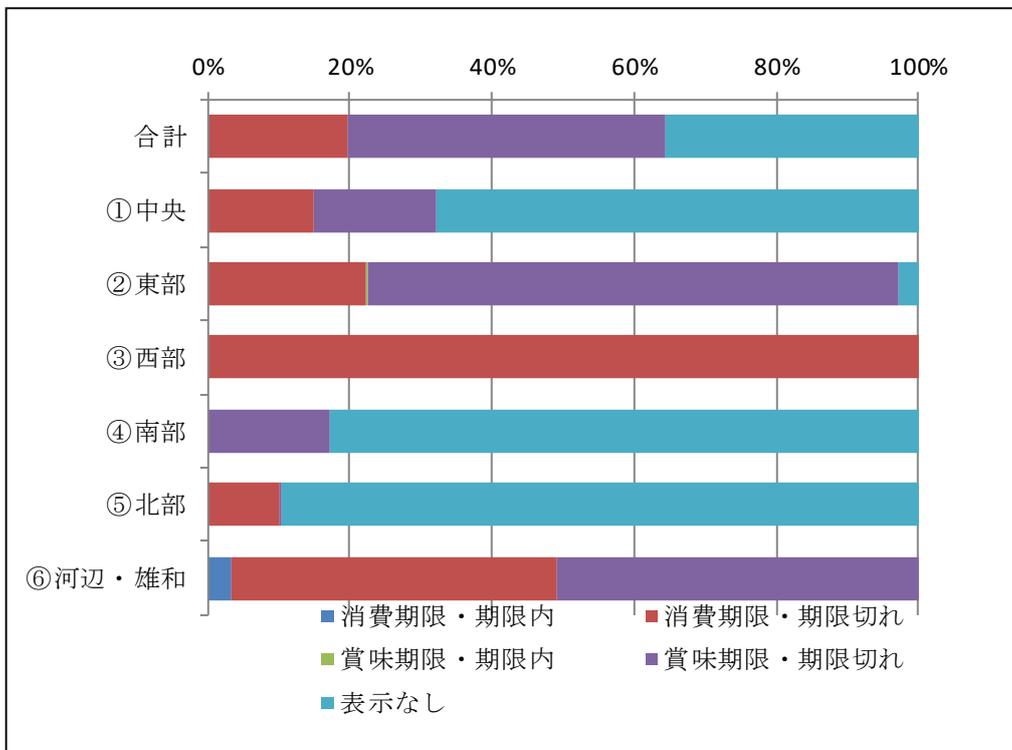
(3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表4）、6地区の合計割合では「表示なし」が35.8%であり、消費期限の表示があったものは19.4%（期限内は0.0%、期限切れが19.4%）、賞味期限の表示があったものは44.8%（期限内内0.1%、期限切れが44.7%）となっている。

消費期限に着目すると、（100%手付かず）のうち「期限内」のものは全地域0.0%で、「期限切れ」については、③西部で最も高く100%であった。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち0.1%、地区別に見ると②東部地区が最も高く0.2%であった。

図表4 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（秋田市）



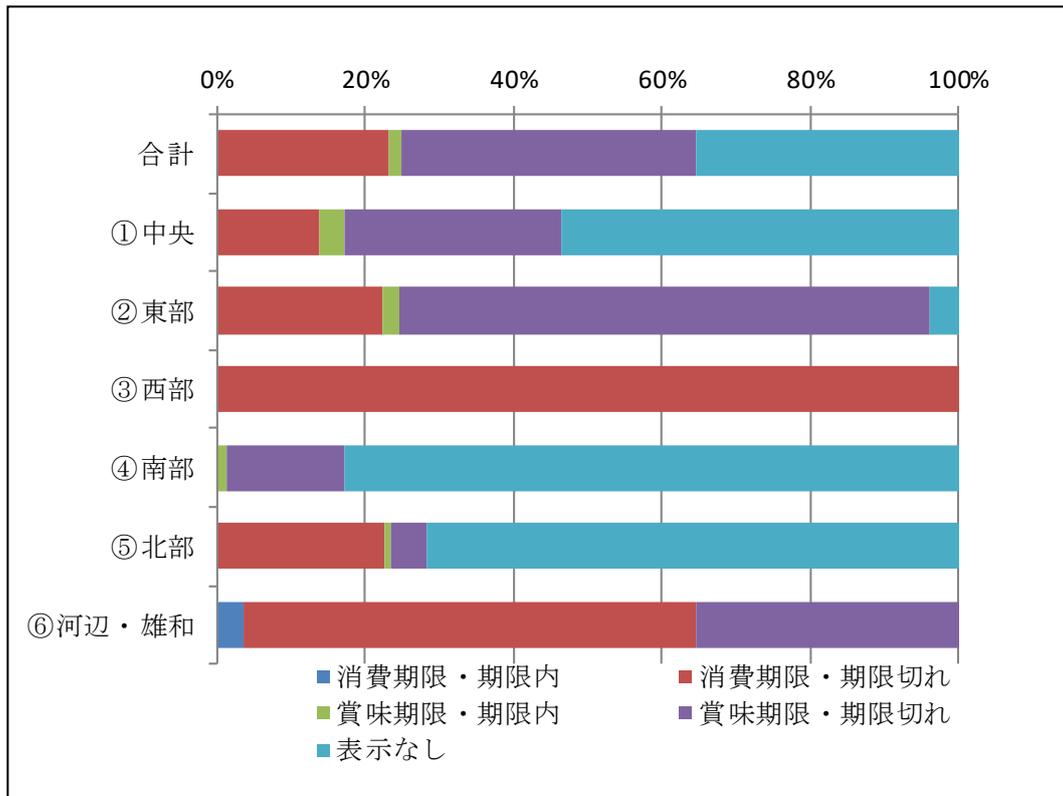
	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	19.4%	0.1%	44.7%	35.8%
①中央	0.0%	15.0%	0.0%	17.1%	67.9%
②東部	0.0%	22.2%	0.2%	74.7%	2.9%
③西部	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④南部	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%	82.8%
⑤北部	0.0%	10.0%	0.0%	0.4%	89.6%
⑥河辺・雄和	0.0%	47.3%	0.0%	52.7%	0.0%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、6地区の合計では「賞味消費期限表示なし」が35.3%であり、消費期限の表示があったものは23.3%（期限内は0.4%、期限切れ22.9%）、賞味期限の表示があったものは41.4%（期限内1.8%、期限切れ39.6%）となっている。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち1.8%となっている。地区別に見ると①中央が最も高く3.5%となっている。

図表5 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.4%	22.9%	1.8%	39.6%	35.3%
①中央	0.0%	13.8%	3.5%	29.2%	53.4%
②東部	0.0%	22.5%	2.0%	71.7%	3.7%
③西部	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④南部	0.0%	0.0%	1.4%	15.7%	82.8%
⑤北部	0.0%	22.7%	0.8%	4.7%	71.8%
⑥河辺・雄和	3.6%	61.6%	0.0%	35.3%	0.0%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一人1日当たりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、令和5年度の実績を参考に一人1日当たりの食品ロス発生量を推計すると54.2g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が28.5g/人・日、食べ残しが25.7g/人・日と推計された。

図表6 一人1日当たりの食品ロス発生量（秋田市）

